

製品名: TGFβ RII ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18856**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	TGFBR2
別名	TGFBR2; TGF-beta receptor type-2; TGFR-2; TGF-beta type II receptor; Transforming growth factor-beta receptor type II; TGF-beta receptor type II; TbetaR-II
遺伝子 ID	7048.0
SwissProt ID	P37173
免疫原	抗血清はヒト TGFβ 受容体 II 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

背景

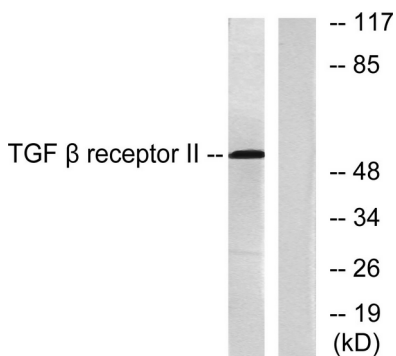
この遺伝子は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーおよび TGFβ 受容体サブファミリーのメンバーをコードしています。コードさ

れているタンパク質は膜貫通タンパク質で、タンパク質キナーゼドメインを有し、別の受容体タンパク質とヘテロ二量体複合体を形成し、TGF- β に結合します。この受容体/リガンド複合体はタンパク質をリン酸化した後、核内に移行し、細胞増殖に関連する遺伝子群の転写を制御します。この遺伝子の変異は、マルファン症候群、ロイス・ダイツ大動脈瘤症候群、および様々な腫瘍の発生と関連付けられています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが特徴付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性: ATP + [受容体タンパク質] = ADP + [受容体タンパク質] リン酸、補因子: マグネシウムまたはマンガン、疾患: TGFBR2 の欠陥は食道がんの原因です[MIM: 133239]、疾患: TGFBR2 の欠陥は家族性胸部3型大動脈瘤 (AAT3) の原因です[MIM: 610380]。

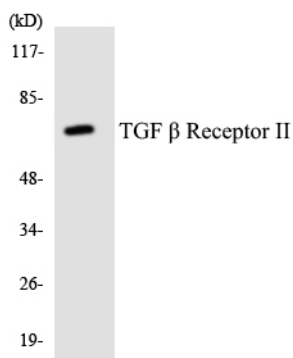
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein; サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用; エンドサイトーシス; TGF-beta; Adherens_Junction; がんにおける経路; 結腸直腸がん; 膵臓がん; 慢性骨髄性白血病;

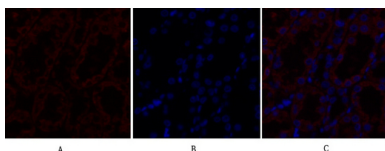
画像データ



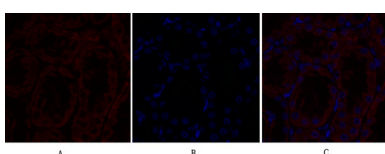
HepG2 (65K) 細胞ライセートの TGF β 受容体 II 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



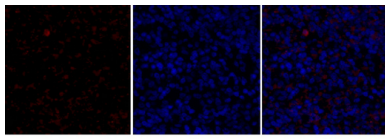
TGF β 受容体 II 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



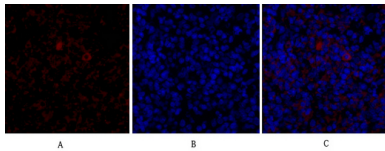
ラット腎臓組織の免疫蛍光染色。1, TGF β RII ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4 $^{\circ}$ C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



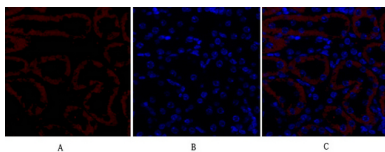
ラット腎臓組織の免疫蛍光染色。1, TGF β RII ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4 $^{\circ}$ C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



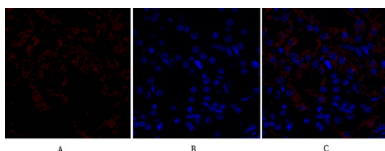
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, TGFβ RII ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



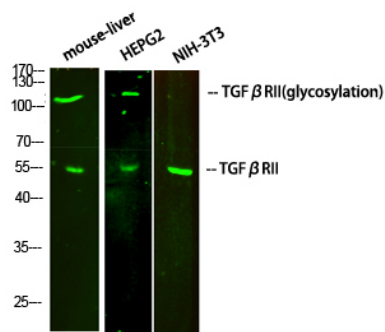
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, TGFβ RII ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



マウス腎臓組織の免疫蛍光染色。1, TGFβ RII ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



マウス腎臓組織の免疫蛍光染色。1, TGFβ RII ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



TGFβ RII ウサギポリクローナル抗体 (1:1000 希釈、4°C、一晩) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)